

○遠軽地区広域組合火災予防条例施行規則

昭和47年3月6日

規則第2号

(目的)

第1条 この規則は、遠軽地区広域組合火災予防条例（平成4年条例第3号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めることを目的とする。

(立入検査証票)

第2条 消防法（昭和23年法律第186号。以下「法」という。）第4条第2項及び第16条の5第3項並びに第34条第2項の規定により、消防職員が関係者に示さなければならない証票は、第1号様式の消防手帳をもってこれに代える。

(火災通報場所)

第3条 法第24条第1項の規定により火災を発見した者の通報すべき場所は、消防本部、消防署及び出張所並びに管理者が指定した場所とする。

(特別興行等の届出及び裸火の使用届出)

第4条 条例第23条に定める劇場等において、特別な興行等を行うため臨時に客席又は舞台等を設ける場合、あるいは特別に混雑が予想されるときは、特別興行開催届出書（第13号様式）によって消防長に届け出なければならない。

2 条例第23条第1項ただし書きにより上演のため裸火、危険物品を使用する場合は、劇場等の裸火、危険物品使用承認申請書（第14号様式）により消防長に届け出て承認を得なければならない。

(百貨店等の指定及び避難経路図の記載事項)

第5条 条例第49条の規定による消防長が指定する防火対象物は、2以上の階を有するものとする。

2 前項に規定する防火対象物の避難経路は、当該対象物の階ごとに掲出するものとし、その記載事項は、次のとおりとする。

(1) 避難施設の設置位置

(2) 消火器の設置位置（屋内消火栓設備が設置されている場合は、併せて記載すること。）

(3) その他避難に必要な事項

(洞道等の指定)

第6条 条例第52条の2の規定により消防長が指定する洞道等は、次のとおりとする。

(1) 共同溝

(2) 洞道で全長が50メートル以上のもの

(3) 前2号に類する地下の工作物で、全長が50メートル以上のもの

(防火対象物検査済証の交付)

第7条 消防長は、条例第50条に規定する防火対象物使用開始届出書を受理したときは、必要な検査を行い、その結果、関係規定に適合し、火災予防上支障がないと認めたときは、防火対象物検査済証（第15号様式）を交付する。

第8条 削除

(タンク検査済証の交付)

第9条 消防長は、条例第54条第2項による検査の結果、関係規定に適合していると認めるときは、タンク検査済証（第20号様式、第20号の2様式）を交付する。

（標識の規格）

第10条 条例に定める標識の規格は、別表1から別表1の7までのとおりとする。

（届出書等の様式）

第11条 次の各号に掲げる届出書等の様式は、次の各号に定めるところによる。ただし、第8号から第11号までの届出については電話又は口頭によることができる。

- | | | |
|---|-------|----------|
| (1) 消防手帳 | | 第1号様式 |
| (2) 防火対象物使用開始届出書 | | 第2号様式 |
| (3) 防火対象物用途（消防用設備等）変更届出書
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー | | 第2号の2様式 |
| (4) 給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備
一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機
急速充電設備
燃料電池発電設備 | 設置届出書 | 第3号様式 |
| (5) 発電設備
変電設備
蓄電池設備 | | 第4号様式 |
| (6) ネオン管灯設備設置届出書 | | 第5号様式 |
| (7) 水素ガスを充填する気球の設置届出書 | | 第6号様式 |
| (8) 火災とまぎらわしい煙又は火炎を
発するおそれのある行為の届出書 | | 第7号様式 |
| (9) 煙火 打上げ
仕掛け 届出書 | | 第8号様式 |
| (10) 水道断水・減水届出書 | | 第9号様式 |
| (11) 道路工事届出書 | | 第10号様式 |
| (12) 指定洞道等届出書（設置・変更） | | 第10号の2様式 |
| (13) 少量危険物 貯蔵取扱届出書
指定可燃物 | | 第11号様式 |
| (13) の2 少量危険物 貯蔵取扱廃止届出書
指定可燃物 | | 第11号の2様式 |
| (14) 催物開催届出書 | | 第12号様式 |
| (14) の2 露店等の開設届 | | 第12号の2様式 |
| (14) の3 火災予防上必要な業務に関する計画提出書 | | 第12号の3様式 |
| (15) 特別興行開催届出書 | | 第13号様式 |
| (16) 劇場等の 裸火
危険物品 使用承認申請書 | | 第14号様式 |
| (17) 防火対象物検査済証 | | 第15号様式 |
| (18) 煙突清掃・燃焼機器整備業届出書 | | 第16号様式 |
| (19) 消防用設備業届出書 | | 第18号様式 |

- | | | |
|----------|----------------------|-------------------|
| (19) の 2 | 防火管理業務教育担当者選任（解任）届出書 | 第18号の 2 様式 |
| (20) | 水圧
水張 試験・検査申請書 | 第19号様式 |
| (21) | タンク検査済証 | 第20号様式・第20号の 2 様式 |
| (22) | 届出済印 | 第21号様式 |
| (23) | 承認済印 | 第22号様式 |
- (届出書等の提出部数及び届出等の印)

第 1 2 条 条例及びこの規則の定めるところにより届出等（前条第 8 号から第11号まで及び第 17号、第18号、第21号、第22号並びに第23号を除く。）を行う者は、当該様式による届出書 2 通を消防長に提出するものとする。

- 2 消防長は、前項による届出書を受理したときは必要な検査又は調査を行い支障がないと認めるときは、その 1 通に届出済印（第21号様式）又は承認済印（第22号様式）を押印して届出者に交付するものとする。

(指定催しの通知)

第 1 3 条 消防長は、条例第 49 条の 2 の規定に基づき指定催しの指定を行ったときは、当該主催する者に通知（第 23 号様式）するものとする。

(公表の対象となる防火対象物及び違反の内容)

第 1 4 条 条例第 54 条の 3 第 3 項の規則で定める公表の対象となる防火対象物は、令別表第 1 (1) 項から (4) 項まで、(5) 項イ、(6) 項、(9) 項イ、(16) 項イ、(16 の 2) 項及び(16 の 3) 項に掲げる防火対象物で、法第 17 条第 1 項の政令で定める技術上の基準又は同条第 2 項の規定に基づく条例で定める技術上の基準に従って屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備を設置しなければならないもののうち、法第 4 条第 1 項に規定する立入検査においてこれらの消防用設備等が設置されていないと認められたものとする。

- 2 条例第 54 条の 3 第 3 項の規則で定める公表の対象となる違反の内容は、前項の防火対象物に屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備を設置されていないこととする。

(公表の手続)

第 1 5 条 条例第 54 条の 3 第 1 項の公表は、前条第 1 項の立入検査の結果を通知した日から 30 日を経過した日において、なお、当該立入検査の結果と同一の違反の内容が認められる場合に、当該違反が是正されたことを確認できるまでの間、遠軽地区広域組合ホームページへの掲載により行う。

- 2 前項に規定する方法により公表する事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 前条第 2 項に規定する違反が認められた防火対象物の名称及び所在地
- (2) 前条第 2 項に規定する違反の内容（当該違反が認められた防火対象物の部分を含む。）
- (3) その他消防長が必要と認める事項

(委任)

第 1 6 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、消防長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和47年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和48年規則第4号）

この規則は、昭和49年1月1日から施行する。

附 則（昭和50年規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和55年規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和59年規則第7号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和61年規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成2年規則第1号）

この規則は、平成2年5月23日から施行する。

附 則（平成4年規則第1号）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成7年規則第1号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成18年訓令第2号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年規則第10号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年規則第2号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年規則第1号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年規則第5号）

この規則は、平成22年12月10日から施行する。

附 則（平成26年規則第3号）

この規則は、平成26年8月1日から施行する。

附 則（平成28年規則第3号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年規則第8号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和元年規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和3年規則第2号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

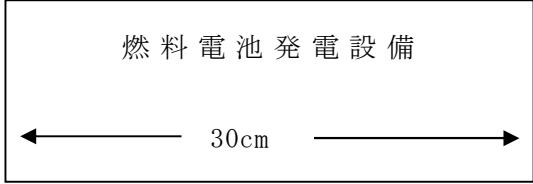
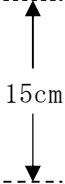
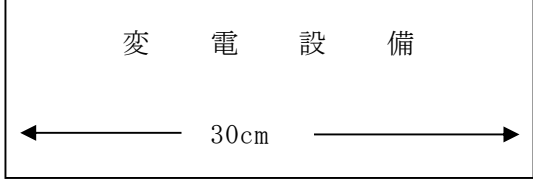
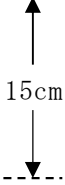
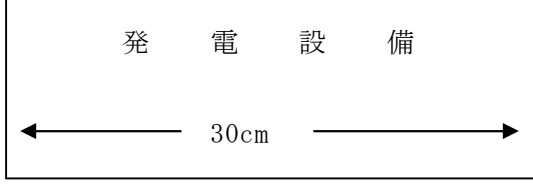
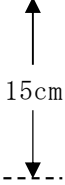
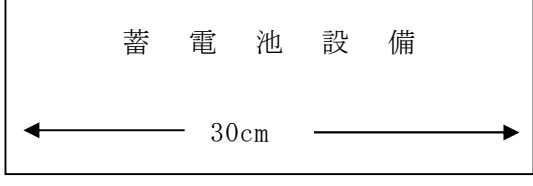
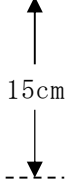
附 則（令和5年規則第10号）

この規則は、令和6年1月1日から施行する。

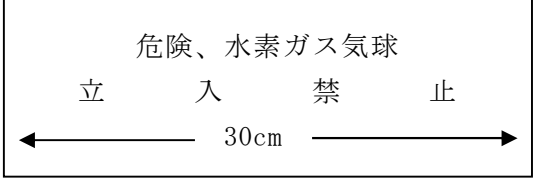
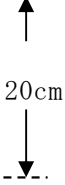
附 則（令和8年規則第1号）

この規則は、令和8年3月31日から施行する。

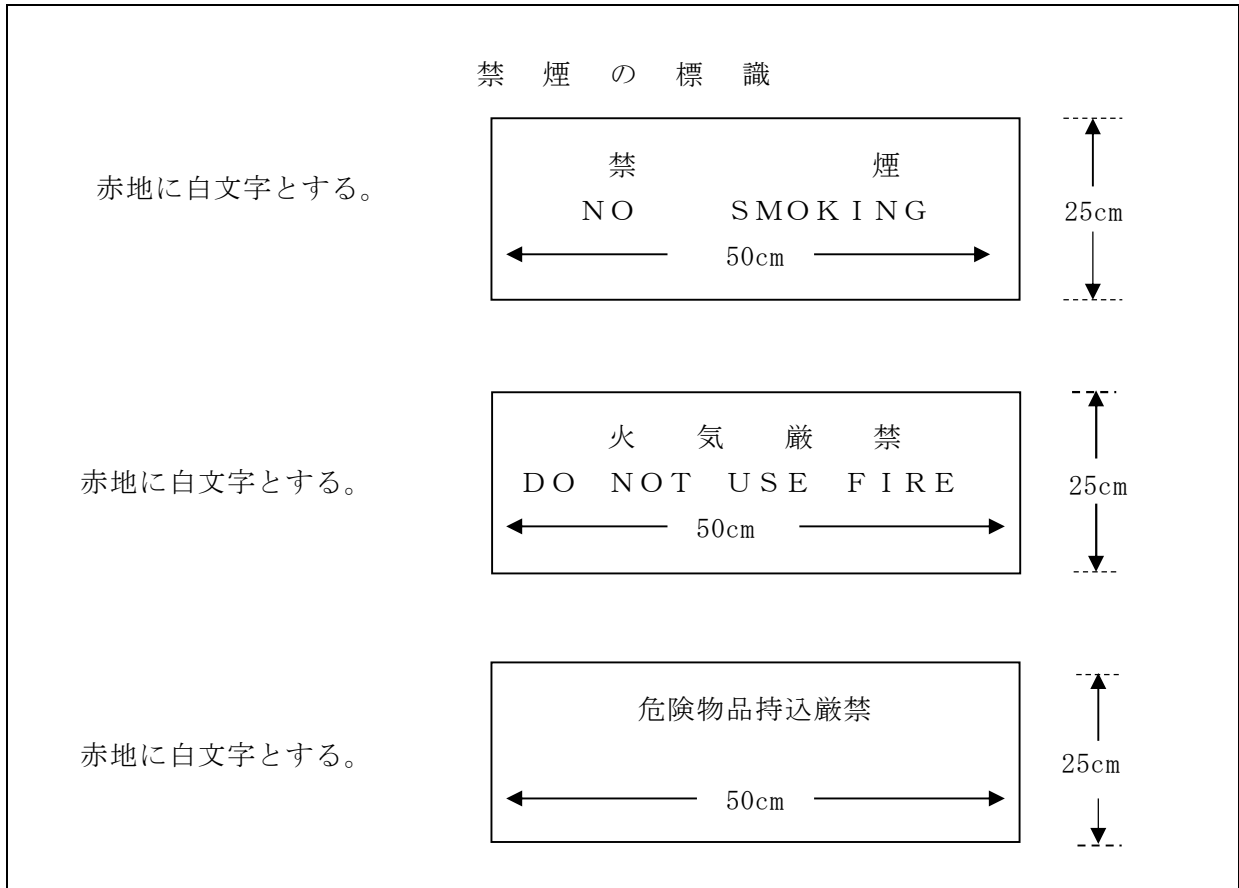
別表 1 (第10条関係)

白地に黒文字とする。	燃料電池発電設備の標識		
白地に黒文字とする。	変電設備の標識		
白地に黒文字とする。	発電設備の標識		
白地に黒文字とする。	蓄電池設備の標識		

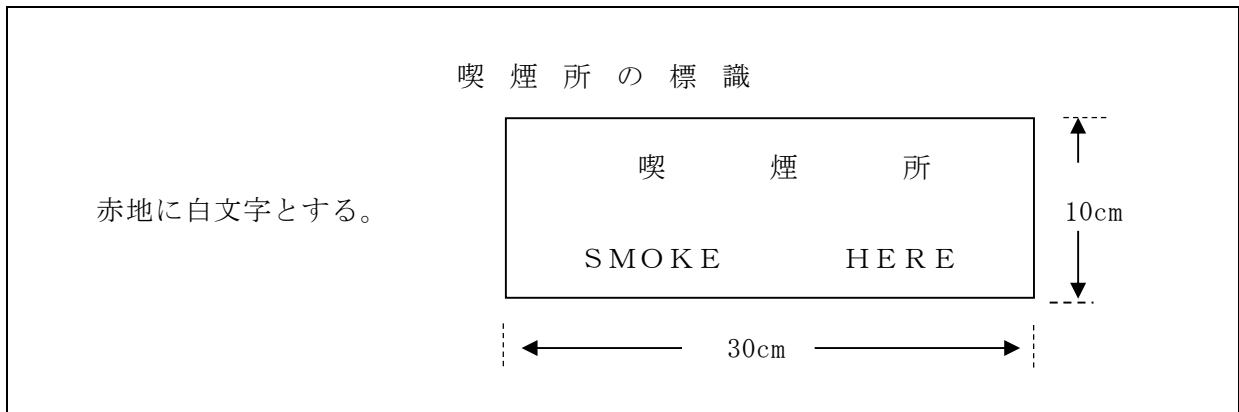
別表 1 の 2 (第10条関係)

白地に黒文字とする。	気球を掲揚又はけい留する場所へ立入禁止の標識		
------------	------------------------	--	---

別表 1 の 3 (第10条関係)



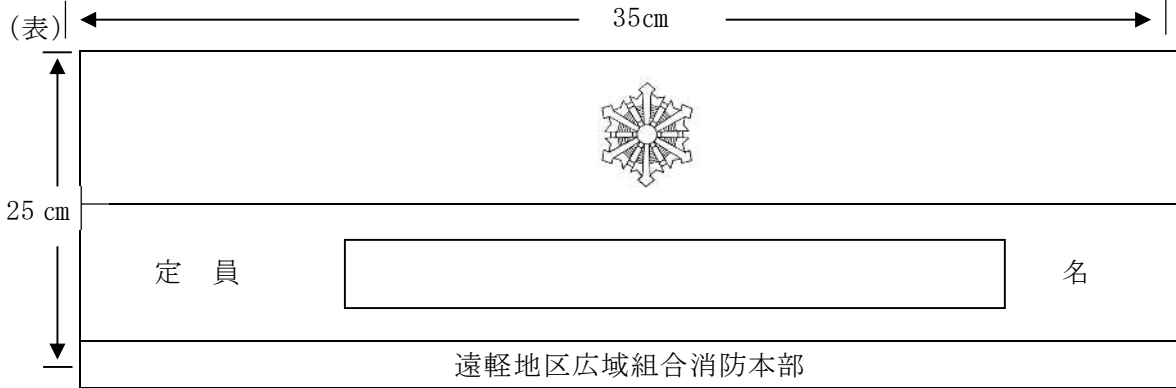
別表 1 の 4 (第10条関係)



別表 1 の 5 (第10条関係)

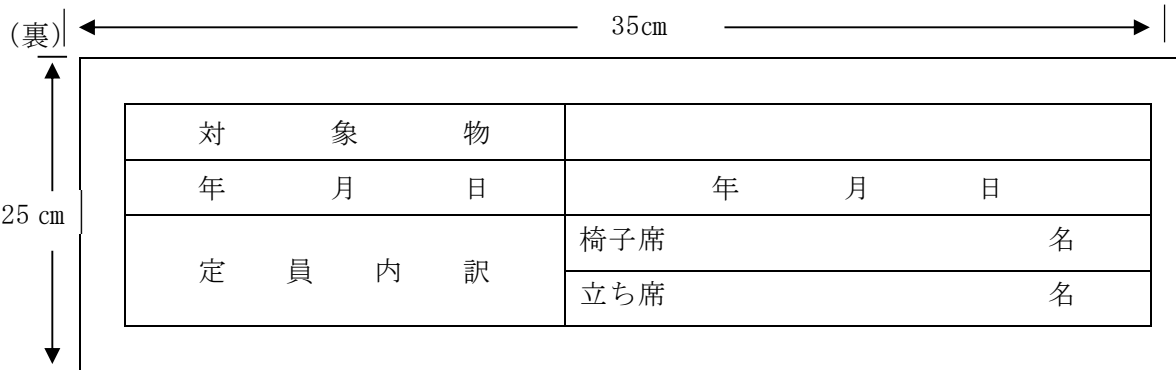
少量危険物及び指定可燃物の標識等		
白地に黒文字とする。	<p>少量危険物貯蔵取扱所 危険物の類 第 類 品 名 最大数量</p> <p>60cm</p> <p>30cm</p>	
赤字に白文字とする。	<p>火 気 厳 禁</p> <p>50cm</p> <p>25cm</p>	
赤地に白文字とする。	<p>火 気 注 意</p> <p>50cm</p> <p>25cm</p>	
青地に白文字とする。	<p>禁 水</p> <p>50cm</p> <p>25cm</p>	
白地に黒文字とする。	<p>指定可燃物貯蔵取扱所 品 名 最大数量</p> <p>60cm</p> <p>30cm</p>	

別表 1 の 6 (第10条関係)



備考

- (1) 横線及び定員枠 金色
- (2) 上部及び下部の地 白色
- (3) 中央部の地 赤色
- (4) 「定員」及び「名」の文字 青線で縁取りした白地
- (5) 定員枠の地 白色
- (6) 消防章 金色
- (7) 消防本部名 黒文字



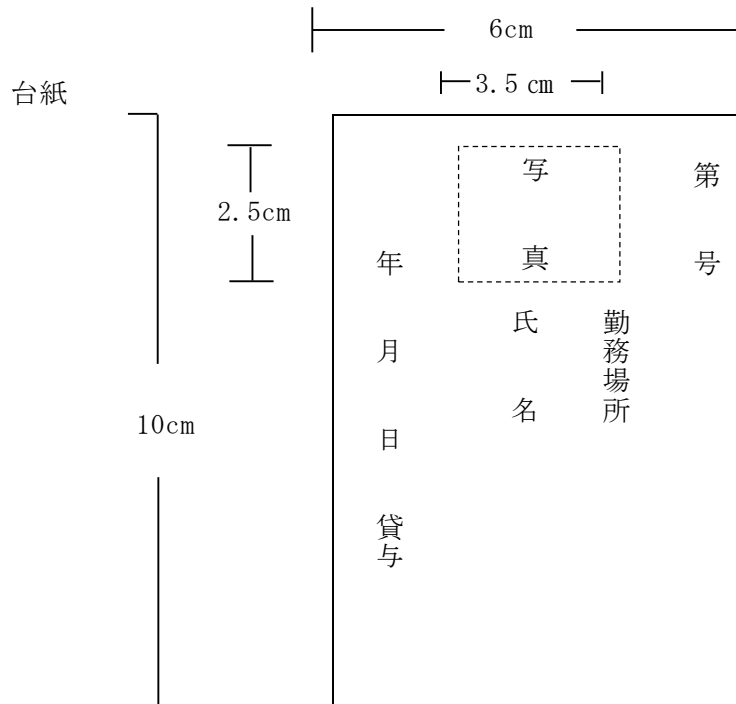
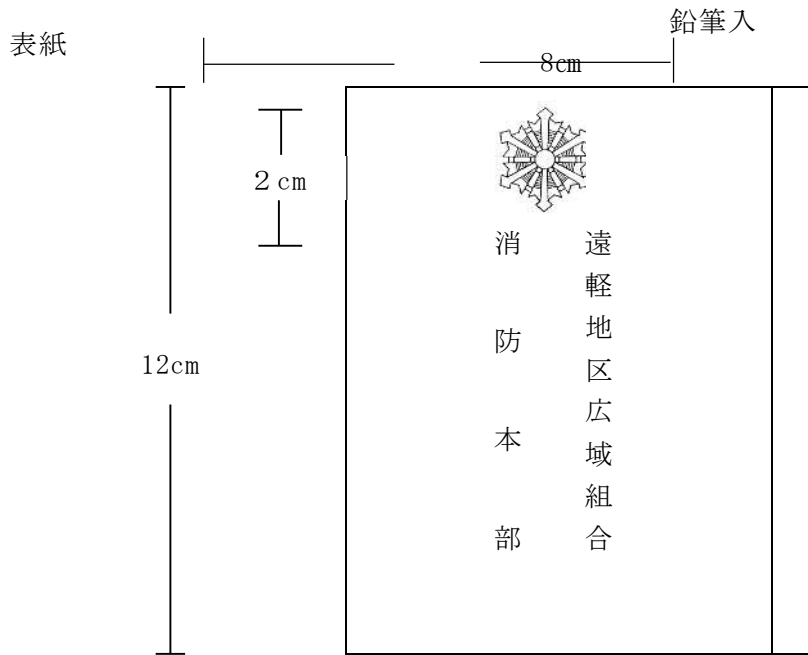
備考

- (1) 白地に黒線、黒文字とする。

別表 1 の 7 (第10条関係)



第1号様式（第2条、第11条関係）



第2号様式（第11条関係）

防火対象物使用開始届出書

(表)

年 月 日					
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様					
届出者					
住所 _____					
TEL _____					
氏 名 _____					
所在地	TEL				
名 称			主要用途		
建築確認年月日	年 月 日		建築確認番号	第 号	
※ 消防同意年月日	年 月 日		※ 消防同意番号	第 号	
工 事 着 手 年 月 日	工 事 完 了 (予 定) 年 月 日		使 用 開 始 (予 定) 年 月 日		
年 月 日	年 月 日		年 月 日		
他の法令による 許 認 可					
敷地面積	m ²	建築面積	m ²	延面積	m ²
従 業 員 数			公 開 時 間 又は従業時間		
屋 外 消 火 栓 動力消防ポンプ 消防用水の概要					
そ の 他 必 要 な 事 項					
※ 受付欄	※ 経 過 欄				

防火対象物棟別概要追加書類

(裏)

用途				構造			
種別 階別	床面積㎡	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用 設備等の 概要
			消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設	
階							
階							
計							

用途				構造			
種別 階別	床面積㎡	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用 設備等の 概要
			消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設	
階							
階							
計							

用途				構造			
種別 階別	床面積㎡	用途	消防用設備等の概要				特殊消防用 設備等の 概要
			消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設	
階							
階							
計							

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 同一敷地内に二以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入すること。
- 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 建築面積及び延べ面積の欄は、同一敷地内に二以上の棟がある場合にはそれぞれの合計を記入すること。
- 消防用設備等の概要欄には屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 防火対象物の配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書（消火器具、避難器具等の配置図を含む）を添付すること。

第2号の2様式（第11条関係）

防火対象物用途（消防用設備等）変更届出書

年 月 日				
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様				
届出者				
住所 _____				
TEL _____				
氏名 _____				
変更前の用途				
防火対象物	所在地	TEL		
	名称		用途	
防火施設の種類				
工事の種類		新設 増設 改修 移設 その他()		
設計	事業所の所在地			
	事業所の名称			
	担当者氏名			
工監 事理	事業所の所在地			
	事業所の名称			
	担当者氏名			
法第 17 条の ニ・三 関係	工事着工予定 年 月 日	用途	増・改築及び用途変更部分の床 面積の合計 (㎡)	延面積 (㎡)
	年 月 日			
	年 月 日			
	年 月 日			
設 備 の 要				
そ の 他				
※ 受付欄		※ 経過欄		

備考

- 1 この用紙の大きさは日本産業規格A4とする。
- 2 設備の概要欄には、階別床面積、消防用設備等の種類及び設置個数を記載すること。
- 3 ※印の欄は記入しないこと。

第3号様式

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
 給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備
 一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機
 火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

(表)

年 月 日					
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様					
届出者					
住所 _____					
TEL _____					
氏名 _____					
防 対 象 火 物	所在地	TEL			
	名 称			用途	
設 場 置 所	用 途		床面積	m ²	消防用設備等又は 特殊消防用設備等
	構 造		階 層		
届 出 設 備	設備の種類				
	着工(予定)		年 月 日	竣工(予定)	年 月 日
	設 備 の 概 要				
	使用する 燃料・熱 源・加工 液	種	類	使 用 量	
	安全装置				
取扱責任者の職氏名					
工 事 施 工 者	住 所	TEL			
	氏 名				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

(裏)

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 階層欄には、屋外に設置する設備にあつては、「屋外」と記入すること。
- 4 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 熱源の使用量欄には、一日または一時間当りの使用量を記入すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。
- 8 当該設備の設計図書を添付すること。

調 査 欄

調査年月日 年 月 日 調査員 職 名 _____ 氏 名 _____		
防火上支障の有無		
調 査 事 項	1 設 置 場 所	
	2 構 造	
	3 建 物 室 内 構 造	
	4 燃 料 槽 等 の 構 造	
	5 非常警報装置又は 熱源自動停止装置	
	6 その他必要な設備	
	7 消 火 設 備	
備 考		

第4号様式（第11条関係）

急速充電設備
 燃料電池発電設備
 発電設備 設置届出書
 変電設備
 蓄電池設備

(表)

年 月 日					
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様					
届出者					
住所 _____					
TEL _____					
氏名 _____					
防火対象物	所在地	TEL			
	名称				
設置場所	構 造	場 所		床 面 積	
		屋内(階)・屋外			
	消防用設備等又は特殊消防用設備等	不燃区画	有・無	換気設備	有・無
届出設備	電 圧	全出力又は蓄電池容量		kW kWh	
	着工(予定) 年 月 日	年 月 日	竣工(予定) 年 月 日	年 月 日	
	設置の概要	種 別	キュービクル式(屋内・屋外)・その他		
主任技術者氏名					
工事施工者	住所	TEL			
	氏名				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

(裏)

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 電圧欄には、変電設備にあつては一次電圧と二次電圧の双方を記入すること。
- 4 全出力又は蓄電池容量の欄には、急速充電設備、燃料電池発電設備、発電設備又は変電設備にあつては全出力を、蓄電池設備にあつては蓄電池容量（定格容量）を記入すること。
- 5 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 当該設備の設計図書を添付すること。

調 査 欄

	調査年月日	年 月 日
	調査員	職名 _____ 氏名 _____
	防火上支障の有無
調 査 事 項	1 位置、構造
	2 周囲の保有空地
	3 換気設備
	4 絶縁低抗及び接地低抗値
	5 消防用設備
	6 標識・その他
備 考	

第5号様式（第11条関係）

ネオン管灯設備設置届出書

(表)

年 月 日			
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様			
届出者			
住 所 _____			
TEL _____			
氏 名 _____			
防火対象物	所 在 地	TEL _____	
	名 称	用 途	
届出設備	設 備 容 量	設 置 位 置	
	着工（予定） 年 月 日	竣工（予定） 年 月 日	
	設備の概要		
工事施工者		住所	TEL _____
		氏名	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 届出設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。
- 5 当該設備の設計図書を添付すること。

第6号様式（第11条関係）

水素ガスを充填する気球の設置届出書

年 月 日									
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様									
					届出者				
					住所 _____				
					TEL _____				
					氏名 _____				
設置請負者		住所			TEL				
		氏名							
看視人		氏名			他名				
設置期間		掲揚			自 年 月 日 至 年 月 日				
		けい留			自 年 月 日 至 年 月 日				
設置目的									
設置場所	地名・地番								
	地上又は屋上の別				用途				
	立入禁止の方法								
充填又は作業の方法				日時		場所			
				方法		ガス置場			
構	気球		型		直径		材質		
					体積		厚さ		
造	掲揚		鋼		材質		太さ		
	電飾		電球の定格電圧		灯数		配線方法		並列・直列
			配線の種類				断面積		
総重量									
支持方法		掲揚			その他 必要事項		----- -----		
		けい留							
※ 受付欄					※ 経過欄				

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印欄は、記入しないこと。
- 4 設置場所付近の見取図、気球の見取図及び電飾の配線図（電飾を付設するものに限る。）を添付すること。

第7号様式（第11条関係）

火災とまぎらわしい煙又は火災
を發するおそれのある行為の 届出書

年 月 日	
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様	
届出者 住所 _____ TEL _____ 氏名 _____	
発 生 予 定 日 時	自 年 月 日 時 分
	至 年 月 日 時 分
発 生 場 所	
燃 焼 物 品 名 及 び 数 量	
目 的	
その他必要な事項	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 その他必要な事項欄には、消火準備の概要その他参考事項を記入すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。

第8号様式（第11条関係）

煙火 打上げ 届出書
仕掛け

年 月 日	
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様	
届出者 住 所 _____ TEL _____ 氏 名 _____	
打上げ 仕掛け 予定日時	自 年 月 日 時 分 至 年 月 日 時 分
打上げ 仕掛け 場 所	
周 囲 の 状 況	
煙火の種類及び数量	
目 的	
その他必要な事項	
打上げ・仕掛けに直接従事する責任者の氏名	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 その他必要な事項欄には、消火準備の概要その他参考事項を記入すること。
- 5 打上げ、仕掛け場所の略図を添付すること。

第9号様式（第11条関係）

水道 断 減 水 届 出 書

年 月 日 遠軽地区広域組合消防本部消防長 様	
届出者 住 所 _____ TEL _____ 氏 名 _____	
断・減水予定日時	自 年 月 日 時 分 至 年 月 日 時 分
断・減水区域	_____ _____
工 事 場 所	_____ _____
理 由	_____ _____
現 場 責 任 者 氏 名	_____ _____
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 断・減水区域の略図を添付すること。

第10号様式（第11条関係）

道 路 工 事 届 出 書

年 月 日	
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様	
届出者 住 所 _____ TEL _____ 氏 名 _____	
工 事 予 定 日 時	自 年 月 日 時 分 至 年 月 日 時 分
路 線 及 び 箇 所	_____ _____ _____
工 事 内 容	_____ _____ _____
現 場 責 任 者 氏 名	_____ _____
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 工事施工区域の略図を添付すること。

第10号の2様式（第11条関係）

指定洞道等届出書（設置・変更）

年 月 日	
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様	
届出者 事業所名 _____ TEL _____ 所在地 _____ 氏 名 _____	
設置者	法人の名称 _____ 代表者氏名 _____
洞道等の名称 _____	
設置場所	起 点 _____ 終 点 _____ 経 由 地 _____
その他必要な事項 _____ _____ _____	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 ※印の欄は記入しないこと。
- 3 洞道等の経路図、設置されている物件の概要書、火災に対する安全管理対策書その他必要な図書を添付すること。

第 1 1 号様式 (第11条関係)

少量危険物 貯蔵取扱届出書
指定可燃物

(表)

年 月 日						
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様						
届出者						
住 所				TEL		
氏 名						
貯蔵取扱所の所在地						
代表者(事業所)名						
貯蔵取扱所の区分			<input type="checkbox"/> 屋内貯蔵 <input type="checkbox"/> 屋内タンク <input type="checkbox"/> 地下タンク <input type="checkbox"/> 屋外貯蔵 <input type="checkbox"/> 屋外タンク <input type="checkbox"/> 移動タンク			
貯蔵 取 扱 状 況	類・品名及び 貯蔵取扱数量	類 別	品 名		最大貯蔵 数 量	1 日 最 大 取 扱 数 量
		第 類				
	貯蔵容器等概要	ホームタンク		ドラム缶等	そ の 他	
		基		本		
屋 内 ・ 外 貯 蔵 概 要	構 造	床面積 m ²	屋内タンク概要		構 造	床 面 積 m ²
移 動 タ ン ク 概 要	車 名	型 式		車両番号	タンク検査番号	
		単一・積載		—	第 号	
消 火 設 備 等	型式(種別)	個 数	流出防止 措置構造	タンク措置		設 備 措 置
配管施工概要						
貯蔵取扱いの目的						
貯蔵取扱開始年月日			年 月 日			
設置施工業者名			TEL			
その他必要な事項						
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄			
			別表第 項			

備考

- 1 ※印及び調査欄は記入しない。
- 2 施設見取図及び施設概要図面等を添付すること。

(裏)

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">調 査 欄</p> <p style="margin: 5px 0;">調査年月日 年 月 日</p> <p style="margin: 5px 0;">調査員 職名 _____</p> <p style="margin: 5px 0;"> 氏名 _____</p>	
<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">調 査 状 況</p>	<p style="margin: 0;">1 保有空地 □良・□否 ()</p>
	<p style="margin: 0;">2 建築物構造 □良・□否 ()</p>
	<p style="margin: 0;">3 配管施工等 □良・□否 ()</p>
	<p style="margin: 0;">4 流出防止措置 □良・□否 ()</p>
	<p style="margin: 0;">5 タンク（ドラム缶等） □良・□否 ()</p>
	<p style="margin: 0;">6 その他</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
<p style="margin: 0;">総合所見</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	

第 1 1 号の 2 様式 (第11条関係)

少量危険物 貯蔵取扱廃止届出書
指定可燃物

年 月 日						
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様						
届出者						
住 所				TEL		
氏 名						
貯蔵取扱所の所在地						
代表者(事業所)名						
貯蔵取扱所の区分		<input type="checkbox"/> 屋内貯蔵 <input type="checkbox"/> 屋内タンク <input type="checkbox"/> 地下タンク <input type="checkbox"/> 屋外貯蔵 <input type="checkbox"/> 屋外タンク <input type="checkbox"/> 移動タンク				
貯蔵取扱状況	類・品名及び 貯蔵取扱数量	類 別	品 名		最大貯蔵 数 量	1 日 最 大 取 扱 数 量
		第 類				
		第 類				
	貯蔵容器等概要	ホームタンク	ドラム缶等	そ の 他		
		基	本			
屋 内 ・ 外 貯 蔵 概 要	構 造	床面積	屋内タンク概要		構 造	床 面 積
		m ²				
移 動 タ ン ク 概 要	車 名	型 式		車両番号	タンク検査番号	
		単一・積載		—	第 号	
廃 止 年 月 日		年 月 日				
廃 止 理 由						
施設等の廃止処理方法						
その他必要な事項						
※ 廃止調査処理欄		年 月 日調査済 (年 月 日再調査済)				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄			
			別表第 項			

備考

- 1 ※印及び調査欄は記入しない。

第 1 2 号様式 (第11条関係)

催 物 開 催 届 出 書

年 月 日				
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様		届出者		
		住所 _____		
		TEL _____		
		氏 名 _____		
防火対象物	所在地	TEL		
	名称		本来の用途	
使用箇所	位 置	面 積	客 席 の 構 造	
		m ²		
	消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要			
使用目的				
使用期間	自 年 月 日 至 年 月 日	開催期間	自 年 月 日 至 年 月 日	
収容人員	名	避難誘導及び消火活動に 従事できる人員	名	
防火管理者 氏 名			映 写 技 術 者	氏 名
				免 状 番 号
そ の 他 必要な事項				
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4すること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 使用する防火対象物の略図を添付すること。

第12号の2様式（第11条関係）

露店等の開設届出書

年 月 日			
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様			
届出者 住所 氏名 電話			
開設期間	自 年 月 日 至 年 月 日	営業時間	開始 時 分 終了 時 分
開設場所			
催しの名称			
開設店数		消火器の 設置本数	
現場責任者氏名	(電話)		
※ 受付 欄		※ 経過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 露店等の開設場所及び消火器の設置場所に係る略図を添付すること。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。

第 1 3 号様式 (第11条関係)

特 別 興 行 開 催 届 出 書

年 月 日			
遠軽地区広域組合消防本部消防長		様	
		届出者	
		住所 _____	
		TEL _____	
		氏名 _____	
防火対象物	所在地	TEL	
	名称		
主催者の住所氏名			
興行内容及び目的			
開催日時	自 年 月 日 至 年 月 日	開催時間	
使用箇所	面積	客席の構造	収容人員
	m ²		名
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要			
防火管理者職・氏名			
避難誘導及び消火活動に従事できる人員			
その他の必要な事項			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4すること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 使用場所の略図を添付すること。

第14号様式（第4条、第11条関係）

劇場等の 裸火 危険物品 使用承認申請書

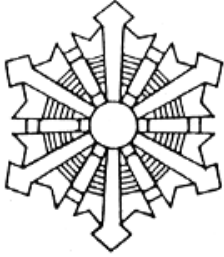
(表)

年 月 日					
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様					
申請者					
住 所 _____					
TEL _____					
氏 名 _____					
対 象 物 名 称					
所 在 地	TEL				
防火管理者職・氏名					
定 員	階	階	階	階	計
	名	名	名	名	名
火気（危険物物品） 使 用 場 所					
使用火気の種別 及 び 使 用 方 法					
危険物品の類名 及 び 最 大 数 量	類	別	品	名	一日最大取扱数量
	第	類			
消防用設備等又は特殊 消防用設備等の概要					
火気（危険物物品） 使用期間（時間）					
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄				

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人又は組合にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 使用場所の図面を添付すること。

第 15 号様式 (第 7 条、第 11 条関係)

第 号  防火対象物検査済証	
防火対象物の名称	
所在地	
所有者又は管理者	
防火管理者 (防火責任者)	
検査年月日	年 月 日
遠軽地区広域組合火災予防条例施行規則第 7 条の規定に基づき上記防火対象物及び消防用設備等を検査した結果、関係規定に適合していることを認めます。 年 月 日 遠軽地区広域組合消防本部 消防長 印	

この検査済証は、防火対象物の使用開始届出の副本に添付し、消防機関の要求があったときは提示すること。

第 1 6 号様式 (第11条関係)

煙突清掃・燃焼機器整備業届出書

年 月 日			
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様		届出者	
		住所 _____	
		TEL _____	
		氏 名 _____	
住 所	TEL		
氏 名			年 月 日生
講習修了証番号	第 号	承認証番号	第 号
所属事業所	経験年数		年
略 歴			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 再交付願の場合は、「略歴」の欄に紛失又は損傷等の事由を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

第 17 号様式 削除

第 18 号様式 (第11条関係)

消 防 用 設 備 業 届 出 書

年 月 日									
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様									
届出者									
住所 _____									
TEL _____									
氏 名 _____									
事業所の所在地									
名 称					TEL				
事業の目的					法人登記		有 ・ 無		
					登記年月日		年 月 日		
業務責任者					TEL				
業務の種別					消防用設備の種類			工事、整備、販売の内容	
業務の内容									
消 防 設 備 士	区分	第一類		第二類		第三類		第四類	
	種別	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
	人員								
	区分	第五類		第六類	第七類	点検資格者			
	種別	甲種	乙種	乙種	乙種	第一種	第二種		
	人員								
業務開始年月日									
その他									
※ 受 付 欄					※ 経 過 欄				

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 記載内容に変更が生じた時は、速やかに届出ること。
- 3 販売を業とする場合は、取扱う設備、器具の説明書を添えること。
- 4 消防設備士及び点検資格者にあつては免状の写しを添付すること。
- 5 ※印の欄は記入しないこと。

第18号の2様式（第11条関係）

防火管理業務教育担当者選任（解任）届出書

年 月 日				
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様				
受託者				
住所 _____				
TEL _____				
氏名 _____				
次のとおり教育担当者を選任（解任）したので遠軽地区広域組合火災予防条例第45条に基づき届け出ます。				
教育 担 当 者	選 任	氏名・生年月日		年 月 日生
		住 所		
		選 任 年 月 日	年 月 日	
		勤 務 場 所		
		職 務 上 の 地 位		
		講 習 機 関		
		講 習 場 所		
		修 了 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日 第 号	
	解 任	氏名・生年月日		年 月 日生
		選 任 年 月 日	年 月 日	
		解 任 年 月 日	年 月 日	
		解 任 理 由		
その他必要な事項				
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 ※印の欄は、記入しないこと。

第 19 号様式 (第11条関係)

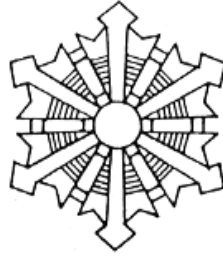
水 圧 試験、検査申請書
水 張

年 月 日		
遠軽地区広域組合消防本部消防長 様		
申請者		
住所 _____		
TEL _____		
氏 名 _____		
遠軽地区広域組合火災予防条例第56条の2第2項の規定に基づく試験、検査を受けたいので下記のとおり申請します。		
試験検査の申請内容	所在地	TEL
	名 称	
	検 査 の 種 目	
	類 名 及 び 構 造	
	タンクの構造	直径 mm 胴板 mm 長さ mm 鏡板 mm
	容量及び年月日	年 月 日 ℓ
	検査希望年月日	年 月 日
	検査希望場所	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄
		結 果 合 ・ 否

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 ※印の欄は、記入しないこと。
- 3 必要図書を添付のこと。

第20号様式（第9条関係）



タンク検査済証

正

水張又は水圧検査の別				
検査圧力		kpa		
タンクの構造	形状		容量	ℓ
	寸法	mm		
	材質記号及び板厚			
製造者及び製造年月日				
タンク検査番号 第 号				
年 月 日				
遠軽地区広域組合消防本部消防長				印

備考 この用紙の大きさは日本産業規格A4とする。

第20号の2様式（第11条関係）

タンク検査済証		
検査年月日	年	月 日
検査圧力		kpa
検査番号		

遠軽地区広域組合

第21号様式（第11条、第12条関係）

第 号

年 月 日

届 出 済

遠軽地区広域組合
消防長

第22号様式（第9条、第12条関係）

第 号

年 月 日

承 認 済

遠軽地区広域組合
消防長

第23号様式（第13条関係）

指定催しの指定通知書

遠組予第 号
年 月 日

様

遠軽地区広域組合消防本部
消防長

遠軽地区広域組合火災予防条例第49条の2第1項の規定に基づき、下記催しを指定催しとして指定したので通知いたします。

記

催し開催場所	
催し名称	
催し開催期間	

教示

この指定に不服ある場合は、指定があったことを知った日の翌日から起算して3箇月以内に対しまして審査請求をすることができる。

また、この指定については、指定があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に遠軽地区広域組合消防本部を被告として指定の取消しの訴えを提起することができる。（訴訟において遠軽地区広域組合消防本部を代表する者は遠軽地区広域組合管理者となる。）

なお、この指定について審査請求をした場合には、当該審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内に遠軽地区広域組合消防本部を被告として指定の取消しの訴えを提起することができる。